

2023 年度英米文学英語学専修 卒業論文題目一覧

- 文 20-0008 青 山 鈴 子 *Alice's Adventures In Wonderland* における言葉選びの翻訳比較
- 文 20-0009 赤 川 拓 音 マザー・グース作品が与える教育的効果とその実践
- 文 20-0049 磯 野 鈴 『ヘルプ 心がつなぐストーリー』における登場人物の役割と相関関係—スキーターを取り巻く登場人物、母娘関係、シーリアの役割—
- 文 20-0074 岩 谷 摩 耶 『人間の絆』における主人公が到達した人生観と女性たち
- 文 20-0077 于 洋 美 映画『マイ・インターン』におけるポライトネス
- 文 20-0088 上久保 杏 香 マンスフィールド短編小説論
- 文 20-0112 大 谷 杏 夢 子音の特徴から見る類似性—動物の鳴き声による実験に基づいて—
- 文 20-0137 岡 野 黛 也 “The Hitchhiker”における翻訳と分析
- 文 20-0165 貝 島 帆 花 Comparison of the Representations of Women as Symbols in “The Murders in the Rue Morgue” and “The Adventure of the Speckled Band”
- 文 20-0192 神 谷 大 志 短編小説試論
- 文 20-0206 川 端 恭 華 『幸せのちから』における幸福の追求—夫婦関係と貧富の差に焦点を当てて—
- 文 20-0223 北 田 瑞 季 『ショーシャンクの空に』におけるアンディとレッドの希望—登場人物の対比、映画版と原作小説、刑務所での生活を表すもの—
- 文 20-0226 北 山 優 妃 『高慢と偏見』と『ブリジット・ジョーンズの日記』における結婚観と理想像—時代背景や視点が与える効果—
- 文 20-0236 木 村 隆 一 『ハウルの動く城』論—原作と映画の比較—
- 文 20-0247 窪 田 一 陽 詩における動物が与えるイメージと影響
- 文 20-0254 栗 木 莉 来 ミュージカル『アニー』の比較—登場人物の描かれ方の違いとその意味—
- 文 20-0277 小 西 克 彰 マザー・グースはなぜ世界的な童話となりえているのか
- 文 20-0292 合 原 佳 穂 ユング心理学を用いた『ドリアン・グレイの肖像』分析
- 文 20-0304 榮 陽代理 映画『グリーン・ブック』におけるトニーとドクの相互関係—対照的な人物設定と二人のそれぞれの変化に焦点を当てて—
- 文 20-0306 阪 口 実 優 視点が及ぼす作品への影響
- 文 20-0307 坂 田 萌 華 短編小説「The Tell-Tale Heart」とその映画化の分析—作品の視点とその効果—
- 文 20-0327 執 行 一 輝 映画『パディントン』における登場人物の性格とポライトネス理論
- 文 20-0351 末 吉 琴 美 『コーダ あいのうた』における自分の変化—主人公の役割、無音の演出、家族の心情の変化—
- 文 20-0363 糴 川 智 大 Thomas Lovell Beddoes における医学と詩学
- 文 20-0402 異 志 帆 *A Christmas Carol* における翻訳分析・比較
- 文 20-0408 田 邊 陽 菜 英語歌詞における強勢とビートからみた英語で好まれるリズム
- 文 20-0413 谷 口 夏 音 『ブラダを着た悪魔』においてアンディの変化とその周りを取り巻く人物たち—ファッション、働く人々が抱く困難、登場人物たちの相互関係に焦点をあてて—

- 文 20-0421 地 部 虎太郎 ゲームキャラクターの名前における音象徴—有聲障害音やモーラ数の調査と混成語の実験—
- 文 20-0440 栩 窪 絵里奈 『ゲド戦記』における影の存在について
- 文 20-0491 西 川 莉 奈 マザー・グースによるジェンダー教育—男らしさや女らしさに関する考察—
- 文 20-0496 西 田 真菜佳 『天使のくれた時間』におけるジャックの生まれ変わり—生まれ変わる転機となるもの、反復とずらしに焦点を当てて—
- 文 20-0504 野 口 芙 紗 イングランドとウェールズにおける男性名と女性名の音韻的特徴—Cutler et al.(1990)を再考する—
- 文 20-0505 野 口 皆 愛 21世紀における『レディング監獄の唄』の価値—「自伝的すぎる」作品が現代の人々に与える影響について—
- 文 20-0511 迫 間 里 歩 ポー短編試論
- 文 20-0523 畠 中 郁 香 ヘミングウェイ短編論—「殺し屋」と「清潔で明るい場所」の分析—
- 文 20-0528 濱 田 萌々音 『X エックス』における古典的ホラー映画の通説の裏切り—ジェンダー表象の変化と老いに焦点を当てて—
- 文 20-0530 林 依 茉 William Wordsworth の自然観
- 文 20-0532 林 真 有 ニュージーランド出身歌手の発音傾向—楽曲中におけるアメリカ発音への適応—
- 文 20-0544 樋 口 優 花 グミの名前に現れる音象徴の実験—硬さ・柔らかさに焦点を当てて—
- 文 20-0579 藤 本 恵 宝 Locative alternation における交替動詞のコアパス分析
- 文 20-0582 舟 尾 萌 里 “Sleeping Beauty”と”Maleficent”におけるインボライトネス：悪役に注目して
- 文 20-0590 別 所 大 暉 映画『Toy Story』におけるボライトネス—Woody と Buzz—
- 文 20-0599 前 川 愛 実 明度が高い色と明度が低い色にふさわしい名前—有聲障害音を持つ音象徴的イメージ—
- 文 20-0603 前 田 七 海 詩から読み解くポーの心理
- 文 20-0618 松 尾 夏 帆 子供向けキャラクター名における音節構造と共鳴音
- 文 20-0634 松 原 莉 玖 『トイストーリー3』におけるウッディとロッツォの性格とボライトネス・ストラテジーの違い
- 文 20-0673 宮 西 彩 葉 なぜ現代の実写映画『美女と野獣』でシェイクスピアの詩が用いられているのか
- 文 20-0681 武 藤 悠 通 『ジャングル・ブック』に見る帝国主義と差別
- 文 20-0700 森 谷 文 香 『人間の絆』論—エル・グレコの重要性—
- 文 20-0707 森 山 将 也 『ワンダー 君は太陽』におけるオギーと周りの人物の変化—見る者と見られる者、親友と校長、両親の変化—
- 文 20-0709 矢 沢 千 佳 「モルグ街の殺人」と「マリー・ロジェの謎」におけるエドガー・アラン・ポーのマスメディアに対する批判
- 文 20-0719 山 口 菜 那 『ピーター・パン』に反映されているパリの想い
- 文 20-0725 山 添 陽 太 *The Shining* 論—登場人物に着目した原作と映画の比較—
- 文 20-0755 横 山 諒 詩における動物の役割とは
- 文 20-0771 米 田 滯 映画『アラジン』における依頼表現—ボライトネスの観点から—

- 文 20-0785 和 田 柚 香 クリスティーナ・ロセッティの詩の魅力
- 文 21-3103 松 尾 海 成 『ファイト・クラブ』が示唆する自己実現のありかた——登場人物の心情に焦点を当てて——
- 文 22-3011 水 牧 日 南 『ティファニーで朝食を』小説とその映画化に見られるアウトローとしてのホリーが追い求めた理想郷
- 文 19-0030 池 野 友 理 Boy's Love Comics and their TV Series Adaptations in the UK: LGBTQ Minority's Lights and Shadows in *Heartstopper*
- 文 19-0182 茅 原 涼 日本人と外国人の原爆観について 詩を通して分析する
- 文 19-0372 田 中 颯 人 映画『グリーンブック』における登場人物の性格とポライトネスストラテジーの違いと変化

2022 年 英米文学英語学会会計報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,453,357 円	「英米文学英語學論集」第 11 号印刷代	154,000 円
特別会費	100,000 円	郵送料	626 円
学生会費	247,000 円	人件費	20,000 円
		雑費（振込料など）	440 円
利息	19 円	次期繰越金	2,625,310 円
合 計	2,800,376 円		2,800,376 円

2022 年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

査読編集委員会

秋 元 秀 紀 (本学教授)

*高 橋 美 帆 (本学教授)

干 井 洋 一 (本学教授)

Richard Donovan (本学准教授)

*編集代表

学 会 開 催 報 告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2023年10月14日(土)13時より関西大学第1学舎1号館A603にて行われました。詳細は以下のとおりです。

[研究発表]

英米文学

秦 佳韻 (M1) 「オーロラ・リー：「家出」から繋がれた人生の軌跡」

司会 高橋 美帆

英米文学

楊 雪純 (M2) 「キーツと医学——‘Ode to Nightingale’ 再解釈」

司会 高橋 美帆

[卒論構想発表会]

巽 志帆(Donovanゼミ) 「*A Christmas Carol* 翻訳比較と分析」

司会 Richard Donovan

濱田萌々音(秋元ゼミ) 「ホラー映画『X』におけるファイナル・ガールの考察」

司会 秋元 秀紀

別所 大暉(野々宮ゼミ) 「映画『Toy Story』におけるボライトネス ―ウッディとバズー」

司会 野々宮 鮎美

森谷 文香(干井ゼミ) 「『人間の絆』論—クラトンとエル・グレコー」

司会 干井 洋一

宮西 彩葉(高橋ゼミ) 「なぜ現代の『美女と野獣』でシェイクスピアの詩が使われているのか」

司会 高橋 美帆

田邊 陽菜(熊谷ゼミ) 「英語歌詞における強勢とメロディの関係性について」

司会 熊谷 学而

林 真有(熊谷ゼミ) 「ニュージーランド出身歌手の楽曲中における発音傾向」

司会 熊谷 学而

【編 集 後 記】

今年はやっと通常に戻り、学会開催と卒論口頭試問、ともに対面での実施となった。学会では活発な意見交換がなされ、参加者は卒論完成に向けてのイメージを持つことができた。文学部優秀論文には、留学経験者の英語論文が選出された。留学状況も通常に戻りつつある。可能なら一人でも多くの学生に、留学および英語論文にチャレンジしてほしい。投稿論文は次号に期待したい。編集作業は今回も、西田佐智子さんにお世話になった。西田さんには、学会の対面開催から本誌の発行まで、あらゆる面で尽力いただいた。この場を借りて、感謝申し上げる。

『英米文学英語学論集』投稿規定

- 1 投稿資格
本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。
- 2 投稿論文及び翻訳
投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。
翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。
- 3 投稿の採否
投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。
- 4 書式上の注意
 - i 注は本文の末尾にまとめる。
 - ii 注のナンバーは肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
 - iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
 - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
 - ② 『MLA英語論文の手引』(第5版) (北星堂)
 - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
 - ④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)
 - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
 - ⑥ *APA (American Psychological Association) Style*
 - iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。
- 5 原稿締め切り
原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。
- 6 電子化による公開
投稿した論文等が本論集に掲載された場合、投稿者はその論文等が関西大学学術レポジトリに登録されることを許諾したものとす。ただし投稿者本人の事前の申し出により登録を辞退することができる。

(投稿規定改正 二〇一五年二月)

関西大学英米文学英語学会会則

第一条

本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

第二条

本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。
本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

第三条

一、機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。

二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。

第四条

本会は次の者をもって会員とする。

一、本文学部総合人文文学科英米文学英語学専修の専任教員。

二、本文学部総合人文文学科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科英米文学英語学専修の学生。

三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四、本文学部英文学科(旧)の在職経験者中の入会希望者。

五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。

第五条

本会に次の役員をおく。

一、会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。

二、副会長 副会長(一名)は会長が指名するものとする。

三、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

四、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・会計監査及び広報を分担する。

役員の内任は二年とし、再任を妨げない。

会費は第四条第一項に該当する者は年会費一万円を納入する。第四条第二項に該当する者は千円を納入する。その他は年会費三千円を納入する。

会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。

第八条

この会則の変更は評議員の議決による。

第九条

(会則改正 二〇一八年二月十四日)